

2024年5月15日

学校法人三幸学園  
沖縄ビューティー&ブライダル専門学校  
校長 萩原 知子 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 山下 直樹

### 学校関係者評価委員会実施報告

2023年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

#### 記

##### 1 学校関係者評価委員

- ① 山下 直樹 (株式会社国際ビル産業 営業部)
- ② 村橋 哲矢 (東京都美容生活衛生同業組合 専務理事)
- ③ 水澤 順一 (飛鳥未来きずな高等学校 沖縄キャンパス 主幹教諭)

##### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

2024年5月15日 (会場 沖縄ビューティー&ブライダル専門学校 応接室)

##### 3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

## 2023 年度 学校法人 三幸学園 沖縄ビューティーアート専門学校 自己評価ならびに学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 坂東 真弥

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 山下 直樹

### 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ビューティー分野の学校として「人を美しくすることで人を元気にし、日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ビューティー分野として「お客様を美しくすることで感謝される、サロン・組織を活性化できる(皆をハッピーにする)人材を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

### 2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

<教務目標> ■美容業界・各コースの業界、授業に魅力を感じ、生徒が学びがいを持って学校に通っている

■挨拶&報連相風土・社会で始めに必要な当たり前のスキル「あ・い・さ・つ・だ」を学生へ浸透  
生徒を理解する為の「報連相」を全教員で徹底する

■教育の質向上・各分野・教科において教員が目標を設定し自ら手応えを感じられる結果を得る  
(参考→出席率・単位不良・授業アンケート・資格取得率など)

■進級・卒業率…94%以上

<キャリア・就職目標>進路決定率 100%

#### ① 前年度重点施策振り返り（坂東委員）

授業アンケートの結果は、授業に対する先生の熱意を感じる 3.90(4点満点中)、授業方法は生徒の興味をひくように工夫されていた 3.81(4点満点中)など、重要視している項目は全国同分野姉妹校 12 校の中で最も高く、卒業生アンケートの結果に関しても、在学中を通してどのように感じられましたか(教職員の熱意・愛情)3.81(4点満点中)、本校で成長することができましたか 3.84(4点満点中)など、重要視している項目は全国同分野姉妹校 12 校の中で最も高かった。昨年同様、工夫を行いながら授業展開や学校運営を行っていたが、学科コースによる教育の質の差が見られたため、今後さらに魅力的な授業を行い、学科コースによる格差をなくせるよう取り組んでいく。進路・就職決定率に関しても 100%と非常に良い結果を出せたので、今後も継続できるように努めていきたい。進級・卒業率は 88.4%と目標に届かない結果となった。進級・卒業率は昨年と比べ、3.5 ポイント上がり、2 年生は全員卒業させることができたが、1 年生の進級率に課題が残る結果となった。早い段階で自分には向いていないと思ってしまう、進路変更してしまう、生活習慣のみだれなどから遅刻・欠席を繰り返す、単位不良、退学に繋がってしまうといったことが多くあったので、早い段階から業界や授業の魅力の伝達すること、精神的な理由で退学するケースも増えているため、相談しやすい環境を作る為にカウンセラーを配置するなど、良い生活習慣、登校習慣などを作っていくノームを作っていくことを強化し、改善に繋げていけるように 2024 年度は取り組んでいく。

## ② 学校関係者評価委員会コメント

- ・授業アンケート重要項目の点で、全国同分野姉妹校12校の中で最も高かった事は各項目の数値が、前年度と比較して上昇している点で日頃の学校運営に対し、創意工夫が伝わり高い評価に繋がったと思われます。(山下委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)
- ・教務目標の1つ「挨拶＆報連相風土・社会で始めに必要な当たり前のスキル「あ・い・さ・つ・だ」を学生へ浸透、生徒を理解する為の「報連相」を全教員で徹底するについてですが、御校の弊社業務(清掃、設備点検)の清掃員、技術員に対して、自ら「明るく爽やかに挨拶を行う教員、生徒が多数おり卒業後に社会人としての基本スキルの成果が年々浸透しており、全教員の取り組みの成果が伺えます。今後も継続をお願いします。(山下委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)

## 3.評価項目の達成及び取組状況

### (1)教育理念・目標

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

### ① 課題

- ・ 理念・人材育成像を明確に掲げ、提示・説明しているが、様々な場面で繰り返し伝えつつしていく必要がある。
- ・ 社会や美容の動向やニーズを踏まえて、SNS での集客方法を学べる授業や、デジタル教科書、VR などの最新技術を活用した授業の導入を行っているが、教職員の理解や、慣れが必要だと感じているので、継続的な研修や会議を実施し、いかに取り組みをブラッシュアップしていけるかが課題。

### ② 今後の改善方策

- ・ 繰り返し教員から、様々な場面で理念・人材育成像を伝え続けていく。
- ・ 新たに取り入れた授業や、最新機器・ツールなどをしっかりと軌道に乗せていけるように、研修や会議を、状況を見ながら繰り返し実施していく。

### ③ 特記事項

なし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・理念・人材育成像に関しては、提示・説明を通じて繰り返し継続をお願いします。(山下委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)
- ・社会や美容の動向やニーズを踏まえ最新技術を活用した授業の導入を昨年度より継続しておりますが今年度もさらに質の高い授業の構築を目指し、研修や会議を通して教職員のブラッシュアップの取り組みをお願いします。(山下委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)

- ・ 2024年度は保護者説明会等を実施し生徒同様、保護者様にも学校教育理念や育成人材像を深く理解頂くべく進めている(坂東委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)
- ・ 社会・美容の動向を踏まえ、VRも活用した授業を国家試験課題だけに特化せず、ネイル分野に活用することで更に全体を通じ幅広い教育効果が予測される(坂東さん:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)
- ・ 学校教育理念が根付き徹底されている学校は、進学率も高く、指導が行き届いている為、卒業後社会でも充分にも生かされている為引き続き指導をお願いします(村橋委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)

## (2)学校運営

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

### ① 課題

- ・ コロナが 5 類に変更されことに伴い、従来通りの行事や実習が実施できるようになったため、情報共有・収集の強化、システム化などをより進め、働き方改革を進め、より効率的かつ効果的な業務遂行、学校運営を行っていく必要がある。

### ② 今後の改善方策

- ・ 2024 年度は統合に伴い、使用校舎も複数にわたる為、可能な限り計画的な運営、かつ安定した運営を行っていく。
- ・ 全国に姉妹校があるスケールメリットなども活かした、情報収集などによる効率化、情報システム化、業務の仕組化、OJT・OFF-JT による育成システムの構築による教職員のレベル UP を図る。

### ③ 特記事項

- ・ タブレットを活用して出席管理を行うこと、TEAMS などを使い情報共有を行う、経費採算システムなど、ここ数年間で新たに導入したシステムを軌道に乗せることができている。
- ・ 2024 年度より、沖縄プライダル & ホテル観光専門学校と統合し、プライダルプロデュース科(2 年生課程)が追加。
- ・ 2024 年度より、統合に伴い沖縄ビューティー & プライダル専門学校に校名変更。

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ コロナの5類変更を受けて、活動行事や実習等の制限が無くなり事業計画通りの実施が見込まれます(山下委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)
- ・ 統合に伴い複数の使用校舎の活用等、働き方改革を踏まえてより効率的かつ効果的な業務遂行、学校運営の実施をお願いします。(山下委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)
- ・ 情報システム化による学校全体での情報共有や業務の効率化等、今年度もシステムを活用してさらに効率化を進めて下さい。(山下委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)
- ・ プライダルプロデュース科(2年生課程)が追加された事により、生徒及び業務過程が増えますが、従来の高いレベルでの業務遂行を期待します。(山下委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)
- ・ 従来通りの学校運営・行事が戻って来た半面、教員の労務管理など効率・効果的な業務を意識し、働き方改革・課題解決に努めていく必要がある(坂東さん:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)
- ・ 小・中・高等学校の現代に合わせたICT教育の普及により、専門学校教員のITリテラシー向上は必須となっていく(水澤委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)
- ・ 新人事制度に伴い、分野専門職が発足しており、全国規模の美容イベント等での認知度拡大や生徒の学びの機会、業界との繋がりが大いに期待される(小川さん:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)

## (3)教育活動

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上	3

のための取組が行われているか	
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

## ① 課題

- ・ 関連分野や関連企業・団体との連携の強化を行い、今後実習先を増やしていく必要がある。特にトータルビューティー科メイクコースの実習先の充実を図っていくことが課題。
- ・ 生徒数増加に伴い、教員の人数も増えたため、経験が浅い教員の育成を行っていく必要がある。(現在はベテラン教員とペアで授業を実施している)

## ② 今後の改善方策

- ・ 業界との繋がりを強化、実習先の充実に繋がられるように、積極的に情報収集や企業訪問を実施する。
- ・ メイクコースに関しては、必要に応じて実習時期をずらすなどの対応も検討して対応していく。
- ・ 教員研修などを行い、教員の育成を行っていく。

## ③ 特記事項

- ・ 全国のビューティーアート専門学校合同の取り組みとして、テクニカルチームを組み、美容科・ヘアメイク科の教員中心に技術力向上の統一化が図れたため、次のSTEPとして指導力向上に努めている

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 関連分野や関連企業・団体との連携した実習活動が本格化すると思われますので実習先の充実、経験の浅い教員のスキルアップを引き続きよろしく願いいたします。(山下委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)
- ・ 関連分野や企業、業界団体等の繋がりと、美容師業界で問題視されている「スタイリストの早期育成問題」があげられていることから、期間を定めアカデミーを作り、指導を続ける取り組みをしており、そこに学校が携わることで学校教育・就職・サロンとの連携・スタイリスト育成(技術力向上)の効果が期待される(村橋委員:美容科・ヘアメイク科について)
- ・ 産学連携や学外実習を引き続き充実させ、美容科、ヘアメイク科、美容研究科などは分野トップのサロン等から技術指導等受ける機会をつくと更に良い教育効果が期待される(小川さん:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)

#### (4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	2
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

##### ① 課題

- ・ 1期生～3期連続、就職率は100%であったが、生徒が増えてもこの結果を継続していくこと。
- ・ 2023年度美容師国家試験の合格率は98.6%、2022年度美容師国家試験の不合格生徒が再受験で合格したため、1期生、2期生の美容師国家試験合格率は100%となった。その他主要な資格の合格率も高水準だったので、今後もこの結果を継続していくこと。
- ・ 退学率を低減させていくこと。(特に1年生の退学率)
- ・ 今後、更に生徒数が増えることを見据えての就職先を更に充実させていくこと。(特に沖縄県内)
- ・ 卒業後の卒業生との関係性の構築していくこと。(卒業生用公式LINEや、学園独自のシステムなど関係性を構築できる環境は整えられている)

##### ② 今後の改善方策

- ・ 高い資格合格率・取得率の継続⇒教科会の定期開催、授業・資格対策の質向上
- ・ 退学率低減 ⇒ 授業・学校生活での業界魅力伝達の強化、保護者との連携強化。担任制度をチーム担任制にし、生徒やクラスの状態にあった教員が対応できる体制を整備。生徒との関係の質を大切に、特に初めの段階でどの担任、どの先生に相談してもOKなことを伝達し、学科、クラス、担任の枠を超えて生徒と関わられるようにする。また定期的にアンケートを実施し、悩みなどを把握、相談しやすい環境作りを実施。
- ・ 就職先の更なる充実 ⇒ 県内の企業や施設への訪問、情報収集を強化することでの求人獲得
- ・ 卒業後の関係性の構築 ⇒ 構築している仕組みを軌道に乗せていく

##### ③ 特記事項

- ・ 国展開している姉妹校との連携により、資格取得や就職に向けた傾向と対策を実施。また退学率低減についても教育開発部が主導となって、退学者への様々なアプローチを実施し、低減に努めている。

##### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 毎年、高い美容師国家試験合格率及び主要な資格等、各教員の教育カリキュラムの創意工夫による成果だと思います。それにより各関連企業より求人数の増加が見込まれると思われます。また、各学生のモチベーション向上の繋がるよう今後も継続をお願いします。(山下委員:美容科・ヘアメイク科について)
- ・ 今後の改善方策について、退学率低減に取り組む新たな試みの成果を今後に期待します。(山下委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)

- ・ チーム担任制や個々にあった指導意識し行ったことで、退学率が軽減し様々な工夫が成果として表れている(沖縄県の地域特有の退学理由等にも着目して対応)(小川さん:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)
- ・ 卒業生と連携を図り、コンテストや行事の際に、優秀な成績を残した卒業生より直接指導を受ける機会を設けていく(坂東さん:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)

## (5)学生支援

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

### ① 課題

- ・ 進路・就職支援体制に関しては、生徒数、沖縄県内への就職希望者増加に伴い、沖縄県内での求人の獲得強化が課題。
- ・ 学校独自の特待生制度や、学費サポート制度、スクールカウンセラーの設置など体制を整えているが、制度だけでなくチーム担任を中心として、学生がより相談しやすい学校、生徒の変化に教員から気付き声をかけられる学校にしていきたい。また、卒業後の支援体制も軌道に乗せていきたい。

### ② 今後の改善方策

- ・ 企業訪問、連携などを強化し、沖縄県内からの求人確保に努める。
- ・ チーム担任制を導入し、生徒に初めの段階でどの担任、どの先生に相談してもOKなことを伝達。また定期的にアンケートを実施し、悩みなどを把握、相談しやすい環境作りを実施。
- ・ 生徒との関係の質を大切に、この先生・この学校は信頼できる、相談できるといった関係性を構築していく。生徒やクラスの状態にあわせて、あつていそうな教員が面談や対応を実施。入学・進級直後での面談に加えて、学科、クラス、担任の枠を超えそれぞれの教員が各クラスに顔を出し、生徒の変化などを確認する、声をかける機会を増やす。また、教員間での情報共有をより加速させていく。⇒生徒の変化などをよりタイムリーに把握し、必要に応じて保護者の方にも協力頂き対応していく。
- ・ 生徒のメンタルケアをサポートするため、スクールカウンセラーを設置しタイムリーに対応していく。
- ・ 同窓会 Sanko-Link や、卒業生用公式 LINE を活用し、卒業後の支援体制を軌道に乗せていく

## ③ 特記事項

- ・ 全国の姉妹校との連携を活かして、オンラインも有効活用しての進路・就職支援制度の整備は進んでいる。
- ・ 高校と連携し、部活動や、キャリアに対するサポート、取り組みを積極的に実施できている。

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 学生が安心して楽しい学校生活を送れる環境作りを今後も継続をお願いします。(山下委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)
- ・ 改善案のチーム担任制について教育に携わるすべての先生に相談できる試みは、学生が気軽に悩み・相談が出来る支援だと思います。(山下委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)
- ・ 新設のスクールカウンセラーによる、教職員のアシストとして生徒の心のケアの取り組みに期待します。  
(山下委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)
- ・ 学校では抱えきれない問題等を専門の機関(スクールカウンセラー・産業医・ソーシャルワーカー等)と連携していくことで、適材適所が図れ学校の役目、教員の役目、本来やるべき領域に費やす仕組み、学校運営が可能になる。退学率軽減など全ての項目で、各機関との繋がりを増やすことで効果が期待される(水澤委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)

## (6)教育環境

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

## ① 課題

- ・ 社会情勢、生徒数などを踏まえながら、実習、インターンシップ先の確保、質の向上を進めていく必要がある。また、卒業後でも希望者は学校の研修に参加できるような体制を構築していきたい。

## ② 今後の改善方策

- ・ 積極的に情報収集や、企業訪問を行い、実習施設やインターンシップ先の充実を図っていく。
- ・ 卒業後でも学校の研修に参加できる体制を整えていく。

## ③ 特記事項

- ・ 全教室にPC プロジェクターが設置されている。
- ・ 美容師国家試験実技対策として、VRを導入している。
- ・ 国内研修(東京・大阪)、海外研修(ヨーロッパ・韓国)の実施。

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 新校舎の完成により施設・設備の充実した快適環境を維持する様、施設の維持管理に努めます。  
(山下委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)

- ・ 就業した卒業生への学校研修参加について在校時で習得した技術の再確認が出来る機会が持てる体制については大いに期待します。(山下委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)
- ・ 全教室にPCプロジェクターやVRなど、多角的なアングルでの映像を確認して技術向上を図る機材の導入で教育環境向上について評価します。(山下委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)
- ・ 防災、安全管理につきまして火災避難訓練を毎年実施し教員・生徒の安心・安全な教育環境の継続を引き続きお願いします。(山下委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)
- ・ 国内、海外研修の実施により生徒のキャリア向上が期待できる制度に期待します。(山下委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)
- ・ 教員向けに消防局からの訓練や指導、AED講習等を実施したことにより、防災・安全管理の関わる部分の強化が図れているため引き続き継続していきたい(小川さん:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)

## (7)学生の入入れ募集

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

### ① 課題

- ・ 奨学金や高等教育無償化に関して、高校でしっかりと説明を受けていないケースが多くあるので、オープンキャンパスなどを活用して、本校からも説明や告知を行っていく必要がある。

### ② 今後の改善方策

- ・ SNS にて学校の魅力を発信する、進路ガイダンスに積極的に参加する、早期対策などを含めた広報活動の更なる対策強化を行う。
- ・ 2024 年度より美容科・ヘアメイク科の美容科通信課程の定員増。
- ・ オープンキャンパスや、進路ガイダンス、高校訪問などで十分に説明、告知を行っていく。
- ・ 県内高校の大学進学率や県外に進学する高校生の増に伴い、大学と専門学校との違いや県外に進学する費用の差などを説明していく。

### ③ 特記事項

- ・ 一般社団法人沖縄県専修学校各種学校協会に加盟し、同会で定められた生徒募集ルールに則り取り組んでいる。併せて、沖縄広報室からの支援も受けて募集活動に取り組んでいる。
- ・ 美容科・ヘアメイク科は定員をそれぞれ 40 名から 80 名に定員増

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 将来への高い希望をもって入学した学生を奨学金や高等教育無償化等の問題で就学意欲の低下による

学力低下や早期退学の事態が起きないようにオープンキャンパスや、進路ガイダンス、高校訪問などで十分に説明、告知を行っていく取り組みをお願いします。(山下委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)

- ・ 高等教育無償化の区分が増えたことにより、学費ネックで進学を断念する生徒が軽減されることを期待し、オープンキャンパスでの積極的な案内や告知を引き続き強化していく(小川さん:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について)

## (8)財務

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

### ① 課題

#### 【中長期計画】

なし

#### 【予算・収支計画】

なし

#### 【会計監査】

なし

#### 【財務情報の公開】

なし

### ② 今後の改善方法

#### 【中期計画】

今期は第3次中期計画(2023年度～2027年度)の初年度であり、ホームページ上に公開している。今後は当該計画の達成状況等についても公開予定である。

#### 【財務情報の公開】

なし

### ③ 特記事項

なし

## ④学校関係者評価委員会コメント

特になし

## (9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己評価結果を公開しているか	4

## ① 課題

- 自己評価で浮き彫りになった課題を解決していく必要がある。

## ② 今後の改善方策

- 各項目、自己評価で浮き彫りになった課題に対して、しっかりと改善策を実施していく。

## ④ 特記事項

なし

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

- 引き続きコンプライアンスを遵守、情報公開を行い適正な学校運営をお願いします。  
（山下委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について）

## (10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2

## ① 課題

- ・ 社会貢献活動・地域貢献活動・ボランティア活動などを積極的に行い、地地域の活性化などに繋げることができたので、こういった活動をより継続・強化していきたい。

## ② 今後の改善方策

- ・ 社会貢献活動・地域貢献活動・ボランティア活動を引き続き継続・強化していく。
- ・ 教育訓練の申請が通ったので、今後積極的に受け入れを行っていく。

## ③ 特記事項

- ・ 様々な方や、団体施設と連携し、施設の貸し出しや、サポート、ボランティアを実施している。
- ・ 親和性の高い高校の部活支援として、メイク講座を実施している。

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ コロナ5類変更を受けて、今後はより一層の社会貢献・地域貢献活動の継続をお願いします。  
（山下委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について）
- ・ 家庭環境により定期的美容に行けない家庭の子供たちを対象にスチューデントサロンを活用した「こども美容院」のようなボランティア活動等を行い学生のボランティアへの関心を高める企画を期待します  
（山下委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について）
- ・ 沖縄シラミ問題など、引き続き地域や沖縄県と連携できる活動を積極的につくっていくことや、スポーツ分野（姉妹校）との産学連携に参加し生徒のボランティア活動の場を引き続き拡大していく（小川さん:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について）
- ・ 緩和ケアの一環で、美容ボランティア（エステ、ヘッドスパ等）の需要が高い。姉妹校の東京ビューティーアート専門学校にて生徒参加の元、ボランティア活動をおこなう予定。美容分野の社会資源化（訪問美容他）観光資源化（関東での取り組みの一環でインバウンド、エステ、ネイル助成金制度他）が、普及してきている（村橋委員:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について）
- ・ 沖縄地区でも社会的貢献、沖縄県の観光県を活かし、業界につなげていきたいので今後機会があればご紹介いただきたい（小川さん:美容科・ヘアメイク科・トータルビューティー科について）

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

コロナ禍以前の従来通りに近い学校運営となったが、創意工夫を行いながら学校運営や、様々な取り組みを進めることができ、良い形で3期生を送り出すことができた。また、就職率は3期連続100%で、各種資格の合格率も良く、生徒数も年々増加し、社会貢献活動・地域貢献活動も積極的に実施することができている。一方退学率に関しては1年生に課題があるので、今後、その改善に力を入れて取り組んでいく。そして、沖縄県、日本の美容業界の発展に更に貢献できるよう、教員研修を積極的に行うことなどによる、授業の質向上を目指していく。積極的に情報収集を実施し、業界の変化に合わせた教育の提供に努めるとともに、生徒数増加に伴い、更なる実習先・就職先の確保や、地域・企業との関係性の構築を行い、さらなる沖縄校の発展を目指す。